

■コメント

1. ヘルパンギーナ

定点当たり0.63人と増加しています。

ヘルパンギーナは、幼児を中心に流行するウイルス性の感染症で、発熱と口の中に水疱ができることが特徴です(次頁参照)。

咽頭結膜熱や手足口病とともに、いわゆる夏かぜの代表的な疾患です。

毎年5月ごろから増加しはじめ、6月から7月にピークになるため、今後の動向に注意が必要です。

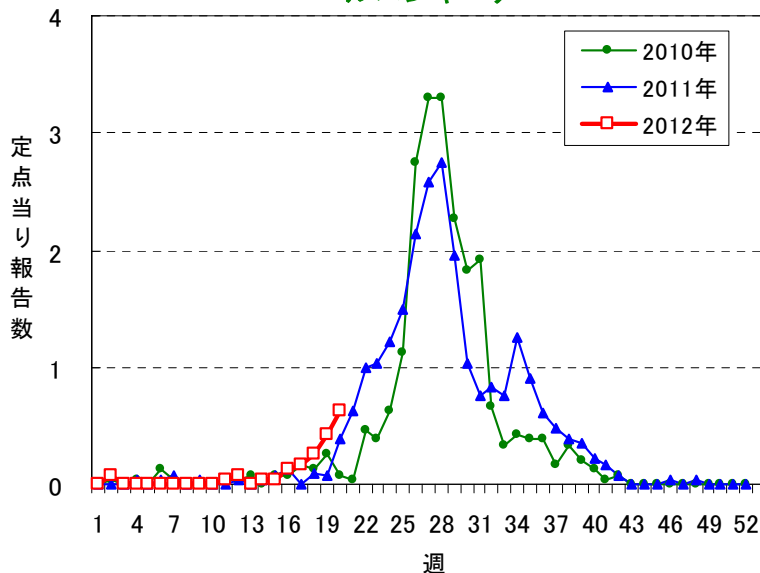
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり1.71人と急増しています。例年5月から6月ごろにかけて多い時期となりますので注意が必要です。

3. A型肝炎

1件の報告があり、今年の累計は6件となりました。

ヘルパンギーナ



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均(過去5年)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均(過去5年)	発生記号
インフルエンザ	10	0.27	0.53	▲	ヘルパンギーナ	15	0.63	0.24	▲
咽頭結膜熱	9	0.38	0.31		流行性耳下腺炎	5	0.21	0.62	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	1.71	1.91	▲	RSウイルス感染症	2	0.08	0.02	
感染性胃腸炎	176	7.33	6.63	▲	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	33	1.38	1.78	▲	流行性角結膜炎	5	0.63	0.98	
手足口病	1	0.04	1.53		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	5	0.21	0.52		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性発しん	12	0.50	0.62		マイコプラズマ肺炎	7	1.00	0.37	
百日咳	8	0.33	0.26		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	▲	▲	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	137	女性(30歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	A型肝炎	1	6	女性(60歳代)
5	急性脳炎	1	5	女性(10歳未満)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第16週	95	8	27	284	24	—	4	22	6	3	3	2	7	—	—	2	—
		第17週	59	9	27	294	29	2	1	18	5	4	3	—	8	—	—	4	—
		第18週	24	3	16	146	19	1	5	3	1	6	1	2	6	—	—	2	—
		第19週	15	10	20	195	38	2	6	15	6	10	4	—	5	—	—	6	—
		第20週	10	9	41	176	33	1	5	12	8	15	2	—	5	—	—	7	—
定点当り	広島市	第16週	2.64	0.33	1.13	11.83	1.00	—	0.17	0.92	0.25	0.13	0.13	0.25	0.88	—	—	0.29	—
		第17週	1.69	0.39	1.17	12.78	1.26	0.09	0.04	0.78	0.22	0.17	0.22	0.13	1.00	—	—	0.57	—
		第18週	0.67	0.13	0.67	6.08	0.79	0.04	0.21	0.13	0.04	0.25	0.04	0.08	—	0.75	—	0.29	—
		第19週	0.42	0.42	0.83	8.13	1.58	0.08	0.25	0.63	0.25	0.42	0.17	—	0.63	—	—	0.86	—
		第20週	0.27	0.38	1.71	7.33	1.38	0.04	0.21	0.50	0.33	0.63	0.21	0.08	—	0.63	—	1.00	—
	全国	第18週	1.52	0.19	1.10	5.23	0.90	0.09	0.11	0.34	0.01	0.04	0.30	0.11	0.01	0.40	0.01	0.66	0.02
		第19週	0.86	0.39	2.08	7.82	1.75	0.11	0.14	0.62	0.03	0.09	0.52	0.11	0.02	0.70	0.04	0.74	0.05

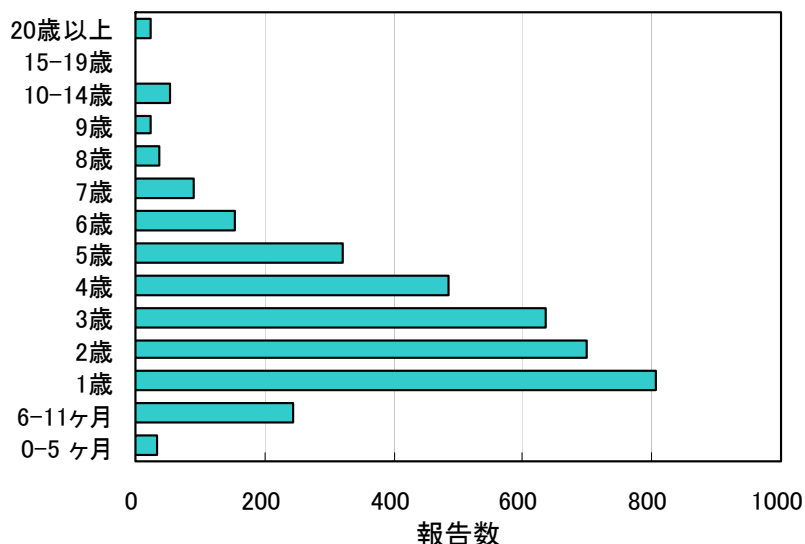
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(38.0) 嘔気 下痢	31	女	2012/04/09	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	発熱(38.0) 嘔気 下痢	不詳	女	2012/04/09	糞便	ノロウイルスG2群
ヘルパンギーナ	発熱(38.0) 水疱	0	男	2012/04/13	水疱内容液	水痘帯状疱疹ウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 上気道炎 気管支炎	14	男	2012/04/15	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 発疹 気管支炎	5	男	2012/05/11	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるヘルパンギーナの年齢階層別報告数 (2007年～2011年合計)



広島市の過去5年間ににおけるヘルパンギーナの年齢階層別報告数は、5歳以下の乳幼児の占める割合が89%と高くなっています。

また、0歳児を除けば年齢が低くなるほど報告数が多くなる傾向にあります。

感染経路としては、せき、くしゃみなどによるウイルスの飛沫感染や、便に排出されたウイルスによる経口感染などがあります。

予防方法としては、手洗い・うがいの励行が大切です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2012年第20週(5月14日～5月20日)